

「第六次生涯学習推進計画（素案）」に関する意見公募の実施結果について

1 結果の概要

実施期間：令和7年12月18日（木）から令和8年1月16日（金）まで

意見提出者数：1名（意見件数 3件）

2 意見の内容と意見に対する市の考え方

番号	意見の要旨	市の考え	ページ
1	<p>高齢者を「支えられる側」ではなく「地域の活力の担い手」として捉え直す「知の循環拠点」としての機能を付加することを提言します。 （番号1から3）</p> <p>シニアの専門性を活かした「生活知・技能伝承講座」の開設（シニアのエンジニア・教職員・公務員等、多様なバックグラウンドを持つ人材が多くいらっしゃいます。）</p> <p>・具体例：元エンジニアによる「おもちゃの修理・工作教室」、教員経験者による「地域の子供向け学習支援」、元企業の管理職による「自治会運営アドバイス」など</p> <p>・狙い：自身のスキルを「地域資源」として還元することで、自己肯定感を高め、生涯現役意識を醸成する。</p>	<p>シニアの専門性を活かせる場として、事業番号53「経験や知識が生かせる環境の整備」や126「ボランティア人材パートナーズ制度の推進」において対応が可能と考えています。また、48「市民講座の実施」では、市民自らが講師となって企画する講座も実施してまいりますので、自身のスキルを「地域資源」として還元する機会を創出できるものと考えております。</p> <p>その他、29「地域未来塾の実施」における学習支援員や142「学校週5日制対応事業を実施する団体への支援」の団体員等についても教職員等のキャリアを活かせる場であると考えています。</p>	17 21 23 37 43
2	<p>地域課題を解決する「共助の学び」の展開（地域が直面する喫緊の課題を解決する実践の場とします。）</p> <p>・防災・減災：地域の歴史や地形を知り尽くした高齢者による、独自のハザードマップ作りや避難訓練の企画。</p>	<p>72「防災組織等の育成」や、75「総合防災訓練の実施」等の事業において、防災に関する地域課題に対応し、共助の意識を醸成することができると考えているほか、48「市民講座の実施」及び各種講座等の実施に当たり内容を検討する際の貴重な御意見として承ります。</p>	21 29
3	<p>「健康・学び・貢献」を一体化した運営モデル（「健康・生涯学習・社会貢献」を一つのサイクルとしてパッケージ化の推進による）</p> <p>・新たな活力「ウェルビーイング（幸福感）」の創造</p> <p>学び直しが直接、地域への貢献（社会参加）に繋がる仕組みを構築する。</p>	<p>計画の基本理念である「生きがい・ふれあいを育む生涯学習」のもと、本計画の推進を通じて、生涯にわたる学び直しが、健康で生きがいのある生活をもたらし、地域社会の貢献へとつながるものと考えております。</p>	5